

### 東南海・南海地震

#### 市民と連携して対策を

【問】近い将来、東南海・南海地震の発生が予測されるが、災害が発生した場合、行政の力だけでは十分な対応ができない。  
市民と連携して防災対策に取り組むべきと思うがどうか。

【答】市の職員だけでは限界があるため、市民一人一人が地震についての知識と理解を持つことが大変重要

【問】避難場所となる小・中学校などの公共施設の耐震診断や改修はどの程度進んでいるのか。

【答】阪神・淡路大震災において被害が大きかったとされる昭和56年(新耐震基準の施行)以前の建築の棟数は公共施設全体の約7割を占める。平成15年4月現



災害時に備え万全の訓練を!

となる。  
16年度は防災講座などを積極的に行う。また、自力避難ができない重度障害者の支援策として、町会連合会、民生・児童委員協議会などの協力を得て策定した安否確認実施マニュアルを、町会、市民に説明する予定である。

【問】避難場所となる小・中学校などの公共施設の耐震診断や改修はどの程度進んでいるのか。

【答】阪神・淡路大震災において被害が大きかったとされる昭和56年(新耐震基準の施行)以前の建築の棟数は公共施設全体の約7割を占める。平成15年4月現

在の診断・改修状況は学校施設231棟のうち4・8%、公民館施設12棟のうち16・7%の実施率である。学校施設については、15年度から3カ年の計画で第1次耐震診断を、16年度は山直南小学校の第2次耐震診断と耐震補強の設計を予定している。

### 合併問題

#### まちづくり計画の説明は

【問】本市と忠岡町で合併協議会が設立され、協議中であるが、合併の是非の判断材料とするための新市まちづくり計画の進捗状況について聞きたい。

【答】昨年10月開催の合併協議会において、新市まちづくり計画策定の基本方針が承認された。  
その内容は、忠岡町区域を新たに加えた7つの3次生活圏がそれぞれの特徴を生かしながらまちづくりを進めていくというものである。



議論が深まる合併協議会

【問】本市と忠岡町で合併協議会が設立され、協議中であるが、合併の是非の判断材料とするための新市まちづくり計画の進捗状況について聞きたい。

【答】昨年10月開催の合併協議会において、新市まちづくり計画策定の基本方針が承認された。  
その内容は、忠岡町区域を新たに加えた7つの3次生活圏がそれぞれの特徴を生かしながらまちづくりを進めていくというものである。

【問】素案を策定中である。素案が出来ると、概要版を全戸配布するとともに、住民説明会やパブリックコメントを行い、住民の意見を反映させた計画内容にしたいと考えている。  
※パブリックコメントとは、原案を公表して事前に住民から意見や情報提供を求める制度。

### 国民健康保険事業

#### より一層収入の強化を

【問】老人保健法の改正に伴い、今後75歳未満まで国民健康保険の対象者が拡大されると、料金改定中心の適正化だけでは事業の継続が困難と思われる。  
福祉施策の観点から、一般会計から国保会計への繰り入れが望ましいと思うがどうか。

【答】高齢者は罹患率が高い上、長期疾病が多く、1人当たりの診療費が若年者の5〜6倍かかるという、保険料改定のみでは対応できないと考えており、繰入金金の増額については努力する。



窓口での納付相談(保険年金課)

【問】老人保健法の改正に伴い、今後75歳未満まで国民健康保険の対象者が拡大されると、料金改定中心の適正化だけでは事業の継続が困難と思われる。  
福祉施策の観点から、一般会計から国保会計への繰り入れが望ましいと思うがどうか。

【答】高齢者は罹患率が高い上、長期疾病が多く、1人当たりの診療費が若年者の5〜6倍かかるという、保険料改定のみでは対応できないと考えており、繰入金金の増額については努力する。

【問】老人保健法の改正に伴い、今後75歳未満まで国民健康保険の対象者が拡大されると、料金改定中心の適正化だけでは事業の継続が困難と思われる。  
福祉施策の観点から、一般会計から国保会計への繰り入れが望ましいと思うがどうか。

【答】高齢者は罹患率が高い上、長期疾病が多く、1人当たりの診療費が若年者の5〜6倍かかるという、保険料改定のみでは対応できないと考えており、繰入金金の増額については努力する。

### 墓地の返還

#### 条件の見直しは

【問】墓地の整備は今後用地確保が困難と予想される。核家族化が進む中、使用者が管理の容易な立体墓地が必要と考えるがどうか。

【答】管理の容易な立体墓地を求める家庭が増えることは予想される。  
今後、整備時期・場所・形式など先進的に行われている事例や市民の要望など、



購入希望者が多い市営墓地

【問】家庭の事情などで、墓地返還の申し出に対して使用・掃除料は経過年数などにより還付されているが、金額が少額のため返還が進まない状況である。墓地の購入希望者が多いことから、返還の条件を見直してはどうか。

【答】墓地の抽選に当選し、返還をさらに進めるため、条件の見直しの検討も必要であると考えている。

### 児童・生徒の安全確保

#### 学校施設の対策は

【問】学校を取り巻く事件は後を絶たず、児童・生徒の社会環境は極めて悪い状況にあるが、学校への不法侵入の防止対策はどうか。

【答】全幼稚園にブザーを押しと近隣住民などへ非常を知らせる緊急通報機器を設置している。  
小学校では、緊急時の連絡用として、廊下にインターホンを設置し、15年度に監視カメラを設置した。  
また、来校者を的確に確認するため、春休みに正門にテレビ付インターホンを

【問】現在、鳥インフルエンザで食品の安全性が大きな社会問題となっているが、鶏肉を食材とする給食の安全性はどうか。

【答】鶏肉や卵の購入時には業者へ産地証明書の添付を求め、その安全性を確認している。また、それらの加工品については、洗浄、加熱した原材料を使用している。今後も引き続き安全な食材確保のため、的確に情報を収集し、迅速に対応していく。



来校者を監視モニターで確認(太田小学校)

### 議会を傍聴しませんか

#### 6月議会日程

傍聴を希望される人は、市役所新館3階の市議会受付までお越しください。

- ▼ 6月14日(月)10:00～ 本会議
- 13:00～ 合併問題調査特別委員会
- ▼ 6月15日(火)10:00～ 文教民生常任委員会
- ▼ 6月16日(水)10:00～ 事業常任委員会
- ▼ 6月17日(木)10:00～ 総務常任委員会
- ▼ 6月18日(金)10:00～ 本会議
- ▼ 6月21日(月)10:00～ 本会議

※日程は、一部変更される場合があります。  
※土・日は休会です。